

■九州朝日放送番組審議会議事概要（7月分）

第575回	九州朝日放送番組審議会 議事概要
開催年月日	平成27年7月13日（月） 午後3時30分～5時
開催場所	九州朝日放送 本社役員会議室
出席者	<p>委員総数 8名 出席委員数 8名</p> <p>（出席委員） 光富彰委員長、宇加治恭子副委員長 宇佐見昇委員、藤田ひろみ委員 古宮洋二委員、宮田克彦委員 三好京子委員、松村茂雄委員</p> <p>（放送事業者側出席者名） 代表取締役社長 武内健二 常務取締役編成制作局長 半田俊彦 取締役ラジオ局長 清水透 報道局長 佐伯拓史 ラジオ局ラジオ編成業務部部长 木附ゆかり ケービーシーメディア ラジオ部次長 佐藤雅昭 視聴者・広報室長兼番審事務局長 久芳康治 事務局員 都合信司、松田泰久</p>
議 題	<p>ラジオ特別番組 「憲法で巡る日本の旅」 <放送日> 2015年5月3日（日）午前11時～12時</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成27年7・8月ラジオ・テレビ番組編成状況 平成27年6月視聴者・聴取者応答状況等の報告 その他
議事の概要	<p>◎委員の意見の概要</p> <p>委員からは</p> <ul style="list-style-type: none"> ○憲法記念日に放送したことは良かった。 ○気鋭の憲法学者である九州大学の南野教授と憲法の条文を暗唱できるAKB48の内山奈月さんとの異色の組み合わせで憲法を身近なものとして理解させる秀でた番組であった。 ○南野教授の話は丁寧でわかりやすく内山奈月さんを上手くリードし、内山さんも南野教授からの質問の意図を良く理解していた。 ○皇居や国会議事堂など、憲法にまつわる身近な場所を狙ったところが良かった。 ○案内役のディレクターのコメントなどに好感が持てた。バスの旅は番組にリズム感を出していた。 <p style="text-align: right;">などの評価を頂きました。</p> <p>また、気になる点や望むこととしては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ラジオ番組として、このテーマでの60分は辛いのでは。 ○冒頭の街頭インタビューは5月3日を何の日か知らない若い人が多く登場していたが、あえて知らなさそうな人を選んでインタビューしたのでは。 ○憲法の基本姿勢である前文に触れられていないのが残念であった。 ○外国の憲法との比較が欲しかった。 ○知覧特攻平和会館への取材も良いが、安全保障が論議されている今、沖縄にも取材に行くべきではなかったのか。 ○番組全体の流れとラストで流れた「恋するフォーチュンクッキー」に違和感があった。 ○番組は、書籍「憲法主義」をベースに作られたものと思うが、番組としてのオリジナル性はどこで担保したのか、「日本の旅」とあるが、東京と鹿児島しか訪ねておらず、ローカル局としての独自性が薄いのでは。 ○5月3日にテレビでも番組化すべきであった。 <p style="text-align: right;">などの批評や提言を頂きました。</p> <p>これらに対して、担当者から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○番組化のベースとなった書籍「憲法主義」自体が魅力的であったが、ロードムービー風にしてエンタテインメント番組として仕立てた。 ○「KBCニュースピア」との連動はテレビと連携した訴求力を意識した。 ○沖縄にも取材に行きたかったが、スケジュール的な問題から断念した。 ○「恋するフォーチュンクッキー」はAKB48を代表する曲であり、前向きな歌詞が当番組にマッチするものとして取り入れた。 <p style="text-align: right;">などの説明を行いました。</p>